



私立短期大学図書館協議会  
関東甲信越地区協議会会報



※会報へのご意見・お問い合わせ

会報担当館：小田原短期大学図書館 成田優子 (naritay@odawra.ac.jp)

新潟青陵大学図書館 小松原由美子 (komatsu@n-seiryu.ac.jp)

====<目次>=====

- ▼ 2019 (R 元) 年度関東甲信越地区協議会総会報告
- ▼ 2019 (R 元) 年度関東甲信越地区協議会研修会報告
- ▼ 『短期大学図書館研究』第 40 号 原稿募集
- ▼ 事務局日より
- ▼ 編集後記

=====

▼ 2019 (R 元) 年度関東甲信越地区協議会総会報告

日時：2019 (R 元) 年 5 月 10 日 (金) 午前 11 時～12 時 00 分  
場所：公益社団法人 東洋文庫 <文京区本駒込 2-28-21>  
参加：出席館：11 館 委任状：26 館 合計：37 館

齊藤誠一会長（千葉経済大学短期大学部）より開会の挨拶があった。続いて司会の林浩次氏（聖徳大学川並記念図書館）より、関東甲信越地区協議会会則第 9 条に基づき、総会の成立、および、林氏が議長となり議事を進行することが確認された。

議題として、①2018 (H30) 年度事業報告 ②2018 (H30) 年度決算報告・監査報告  
③2019 (R 元) 年度幹事校紹介 ④2019 (R 元) 年度事業計画案 ⑤2019 (R 元) 年度予算案が提出され、審議の結果すべて原案どおり承認された。⑥その他は「東洋文庫ミュージアム」見学についての説明と、齋藤会長よりの次回全国研修会についての提案があった。

報告・承認事項

1. 2018 (H30) 年度事業報告

(1) 会勢 (2019 年 3 月 31 日現在) 52 館

<入会>

なし

<退会予定>

1 館 信州豊南短期大学図書館(2019.3.31 付)

<館名変更>

なし

(2) 総会・合同幹事会の開催

<総会>

2018年5月11日(金) 11:00~12:00

(於:文化学園大学 C館4階 041国際会議室)

<幹事会>

- |         |       |     |        |               |
|---------|-------|-----|--------|---------------|
| 第1回(合同) | 2018年 | 5月  | 11日(金) | 文化学園大学図書館     |
| 第2回(合同) | 2018年 | 7月  | 6日(金)  | 日本図書館協会会議室    |
| 第3回(合同) | 2018年 | 9月  | 21日(金) | 文化学園大学図書館     |
| 第4回(合同) | 2018年 | 11月 | 19日(月) | 文化学園大学図書館     |
| 第5回(合同) | 2019年 | 1月  | 25日(金) | 埼玉東萌短期大学附属図書館 |
| 第6回(合同) | 2019年 | 3月  | 28日(木) | 文化学園大学図書館     |
| 第7回(合同) | 2019年 | 4月  | 26日(金) | 文化学園大学図書館     |

(3) 関東甲信越地区協議会会報の発行

第58号(2019年3月発行) 総会・研修会関係報告

(4) 関東甲信越地区協議会研修会の開催

日時:2018年10月1日(月)

場所:青山学院女子短期大学

参加:21名(20機関)

内容:テーマ「短期大学図書館における紙芝居と絵本の運用」

- 概要:(1) 基調講演「懐かしくて新しい~紙芝居コミュニケーションの世界」  
(2) 実践報告Ⅰ「清泉女学院での取り組み 絵本と紙芝居を用いて」  
(3) 実践報告Ⅱ「図書館で創作絵本を作る!？」

2. 2018(H30)年度決算報告

決算報告書は、協議会HP(<http://shitantokyo.org/>) 会計報告に掲載。

3. 2019(R元)年度役員・幹事(敬称略)

- |          |   |   |
|----------|---|---|
| 会 長      | : | 千葉経済大学短期大学部(齊藤 誠一)                                      |
| 事 務 局    | : | 埼玉東萌短期大学附属図書館(片野 裕嗣)<br>千葉経済大学総合図書館(石川 博丈) ※2019年9月まで担当 |
| 名 簿      | : | 小田原短期大学図書館(成田 優子)<br>新潟青陵大学・新潟青陵短期大学部図書館(小松原 由美子)       |
| 会 計      | : | 千葉経済大学総合図書館(石川 博丈) ※2019年9月まで担当                         |
| 研 修      | : | 千葉経済大学総合図書館(石川 博丈) ※2019年9月まで担当                         |
| 広 報      | : | 小田原短期大学図書館(成田 優子)<br>新潟青陵大学・新潟青陵短期大学部図書館(小松原 由美子)       |
| 監 査      | : | 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学附属図書館(大浦 京子)                         |
| 常任サポート幹事 | : | 清泉女学院大学・短期大学図書館(田村 栄子)<br>千葉経済大学総合図書館(荻野 正昭)            |

2019年10月より会計は千葉経済大学総合図書館の渡辺直子氏、研修は同奥三恵氏に交代した。

#### 4. 2019 (R 元) 年度事業計画

(1) 会勢 (2019 年 4 月 1 日現在) 51 館

(2) 関東甲信越地区協議会研修会の開催

日 時 : 2019 年 9 月 2 日 (月) 10 : 30 ~ 17 : 00

テーマ : 進化する国立国会図書館サーチの活用とジャパンサーチ構想  
ーワークショップを含む

内 容 : 基調講演『進化する国立国会図書館サーチの活用とジャパンサーチ構想』  
ワークショップ『国立国会図書館サーチ活用術ーサーチを使ってみよう』

会 場 : 神田外語大学 (千葉県美浜区若葉 1-4-1)

(3) 研究誌『短期大学図書館研究』 (ISSN:0388-3663)

第 39 号 (2020 年 3 月発行予定) への論稿化の依頼

(4) 関東甲信越地区協議会会報の発行

第 58 号 (2020 年 3 月発行) 総会・研修会関係報告

\* 協議会 HP (<http://shitantokyo.org/>) に PDF ファイルを掲載の予定。

(5) 本部・地区合同幹事会

・原則として、年間 6 回の開催予定 (奇数月、5・7・9・11・1・3 月)。

・臨時の合同幹事会については総会・研修会準備等の都合により随時開催。

※ (4) 報告時に、齊藤会長より次回全国研修会について提案があった。

#### 5. 2019 (R 元) 年度 予算書

予算書は、協議会 HP (<http://shitantokyo.org/>) 会計報告に掲載。

#### ▼ 2019 (R 元) 年度関東甲信越地区協議会研修会報告

テーマ : 進化する国立国会図書館サーチの活用とジャパンサーチ構想  
ーワークショップを含む

日 時 : 2019 年 9 月 2 日 (月) 10 : 30 ~ 17 : 00

会 場 : 神田外語大学 (千葉県美浜区若葉 1-4-1)

参加者 : 21 機関 29 名 ※非加盟館からの参加 2 名を含む

#### 【日 程】

10:10~10:30 受付

10:30~10:40 開演/会長及び会場校代表挨拶

10:40~12:10 基調講演

講師 : 松本保氏

(国立国会図書館電子情報部主任司書)

『進化する国立国会図書館サーチの活用



とジャパンサーチ構想』

休憩

12:20～13:20 昼食・ランチタイム情報交換会

休憩

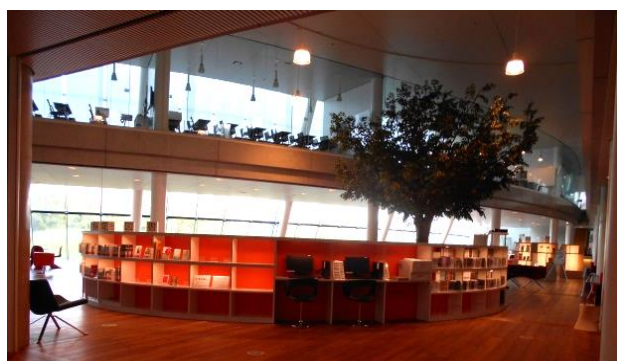
13:40～16:00 ワークショップ

講師：當舎夕希子氏（国立国会図書館 電子情報サービス課）

講師：原田隆史氏（同志社大学）国立国会図書館非常勤調査員）

『国立国会図書館サーチ活用術—サーチを使ってみよう』

休憩



16:00～17:00 神田外語大学図書館見学（希望者／解散）

【概要】

基調講演：『進化する国立国会図書館サーチの活用とジャパンサーチ構想』

スクリーンに映し出された画像を見ながらの予定であったが、Wi-Fi接続が上手くいかず、急きょレジメのみの講演となった。はじめに「ジャパンサーチ構想」の説明があり、続いて「国の取組」「試験版について」「メタデータ連携」「書籍分野のつなぎ役として」と進み、質疑応答で終了した。「国立国会図書館サーチ」と「ジャパンサーチ」との成り立ちのちがいなど、基本的なことから、利用の仕方・今後の展望まで、幅広いレクチャーを受けることができた。

ワークショップ：『進化する国立国会図書館サーチの活用とジャパンサーチ構想』

まず、當舎夕希子氏より「国立国会図書館サーチ」の概要説明があり、その後、出席者各自が持参したパソコンを使って演習を行った。事前に用意されていた演習問題を実際に「サーチ」を使って検索し、その活用方法を体験した。実例に即した演習であったため様々なサーチ方法を知ることが出来た。

次に原田隆史氏より「WebAPI」や「NDL 書誌取得シート」などの活用方法について説明があり、すぐに業務で活かせそうなツールを知ることが出来た。

【参加者の感想】（アンケートより抜粋）

☆基調講演『進化する国立国会図書館サーチの活用とジャパンサーチ構想』

- ・ジャパンサーチがどういうものかという事が理解できた。学生によっては利用したいという声がかえりきそうと、まず、自分で使ってみたいと思います。

・国立国会図書館サーチとジャパンサーチの成り立ちの違いやそれぞれの役割がすっかりわかりました。

☆ワークショップ『国立国会図書館サーチ活用講座—サーチを使ってみよう』

- ・使用方法がとてもわかりやすく説明いただいた事で理解が深まりました。
- ・NDLサーチは何度も使っていましたが、データベースでの絞り込みなどは使ったことがなかったので参考になりました。
- ・日常使用している以外にも使い方がることが分かり勉強になりました。APIについても全く触れてこなかったので使ってみたいと思えました。

☆全体を通してのご意見・ご感想、今後企画を希望するテーマ

- ・情報交換会はありがたかったです。知り合いが増えました。
- ・神田外語大学図書館の見学もできて大満足です。
- ・このたびの研修会を企画実施していただきありがとうございます。刺激がたくさんありました。視野を広く持ち続けることや学びを止めないことが大事だと改めて反省です。

▼『短期大学図書館研究』第40号（2021.3発行）原稿募集

ただいま2020年度発行『短期大学図書館研究』第40号の原稿を募集中です。

図書館に関する研究論文、調査・事例報告、情報・ニュース等、投稿してみませんか？今年こそはと思う方、詳細は私立短期大学図書館協議会HP（[shitantokyo.org](http://shitantokyo.org)）「研究誌原稿募集」に掲載の募集要項等をご覧ください。お待ちしております。

▼ 事務局だより

「図書館業務の相談窓口」について

日々の図書館業務上の個別相談を受け付ける「図書館業務の相談窓口」を設置しております。毛利名誉会長が相談窓口になり、質問内容から適任の相談スタッフ（本部理事）が回答・助言いたしますので、メールにてお気軽にご相談ください。

【相談窓口】名誉会長：毛利 和弘 [mouri@asia-u.ac.jp](mailto:mouri@asia-u.ac.jp)

▼ 編集後記

今号は、2019年9月に「進化する国立国会図書館サーチの活用とジャパンサーチ構想」をテーマに開催されました研修会の報告です。充実したワークショップもあり、盛況のうちに終わることが出来ました。会報作成にあたりご協力いただきました方々に心からお礼申し上げます。

（小田原短期大学図書館：成田優子／新潟青陵大学図書館 小松原由美子）

